# RV110WファイアウォールでのAdvanced Virtual Private Network(VPN)セットアップの設定

## 目的

バーチャルプライベートネットワーク(VPN)は、パブリックネットワークまたはインターネットを使用して、プライベートネットワークを確立し、安全に通信します。インターネットキー交換(IKE)は、2つのネットワーク間で安全な通信を確立するプロトコルです。これは、トラフィックフローの前にキーを交換するために使用されます。これにより、VPNトンネルの両端の信頼性が保証されます。

VPNの両端が同じVPNポリシーに従って、互いに正常に通信する必要があります。

このドキュメントの目的は、RV110WワイヤレスルータでIKEプロファイルを追加し、VPNポリシーを設定する方法を説明することです。

## 該当するデバイス

RV110W

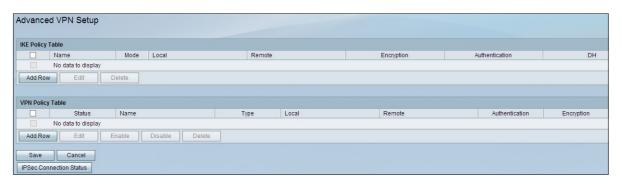
## [Software Version]

-1.2.0.9

# IKEポリシー設定

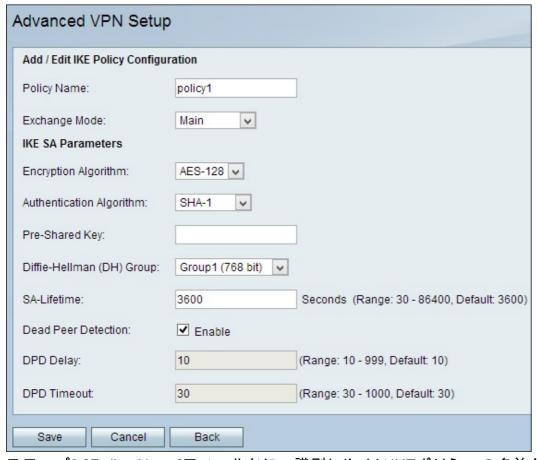
Internet Key Exchange(IKE;インターネットキーエクスチェンジ)は、VPNで通信するためのセキュアな接続を確立するために使用されるプロトコルです。この確立されたセキュアな接続は、セキュリティアソシエーション(SA)と呼ばれます。 この手順では、セキュリティのために使用するVPN接続のIKEポリシーを設定する方法について説明します。VPNが正常に機能するには、両方のエンドポイントのIKEポリシーが同じである必要があります。

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[**VPN**] > [**Advanced VPN Setup]を選択します**。[*Advanced VPN Setup*]ペ*ージが開*きます。

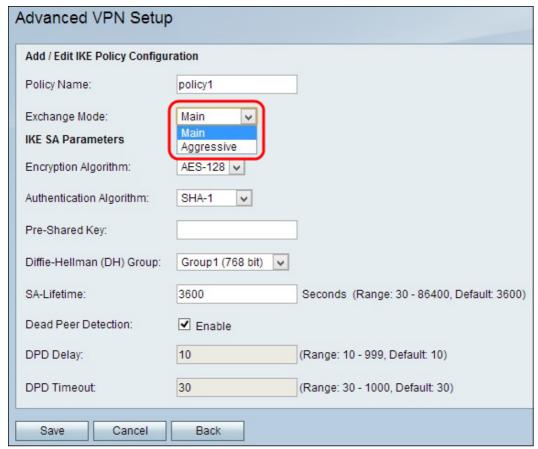




ステップ2:[**Add Row]をクリック**して、新しいIKEポリシーを作成します。[*Advanced VPN Setup*] ペ*ージが開*きます。

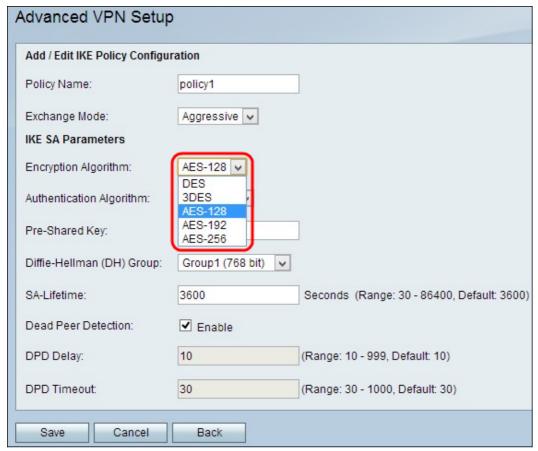


ステップ3:[Policy Name]フィールドに、識別しやすいIKEポリシーの名前を入力します。



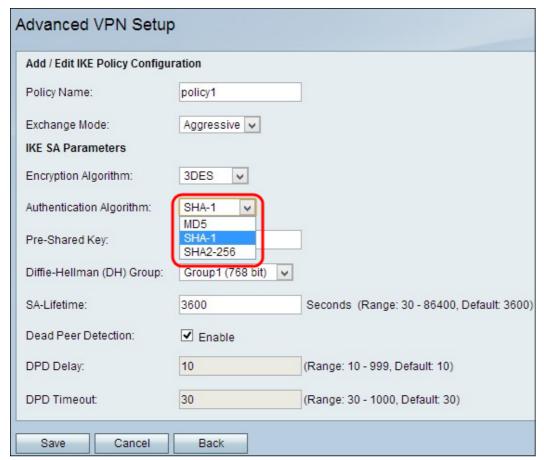
ステップ4:[Exchange Mode]ドロップダウンリストからオプションを選択します。

- ・ Main:IKEポリシーの動作をアグレッシブモードよりも安全に、かつ低速にできます。よりセキュアなVPN接続が必要な場合は、このオプションを選択します。
- ・ Aggressive:IKEポリシーの動作がメインモードよりも速いが安全ではない。より高速なVPN接続が必要な場合は、このオプションを選択します。



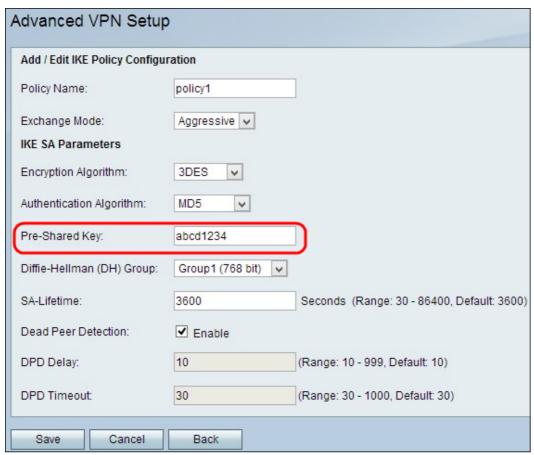
ステップ5:[Encryption Algorithm]ドロップダウンリストからアルゴリズムを選択します。

- ・ DES:Data Encryption Standard(DES;データ暗号規格)では、データ暗号化に56ビットキー サイズを使用します。DESは古いため、1つのエンドポイントがDESのみをサポートしている場合にのみ使用する必要があります。
- ・ 3DES Triple Data Encryption Standard(3DES)は、DESを3回実行しますが、実行される DESのラウンドに応じて、キーサイズを168ビットから112ビット、112ビットから56ビットに変 更します。3DESはDESやAESよりも安全です。
- ・ AES-128:128ビットキー(AES-128)を使用するAdvanced Encryption Standard(AES-128)では、AES暗号化に128ビットキーを使用します。AESはDESよりも高速で安全です。一般に、AESは3DESよりも高速ですが、安全性は低いのですが、一部のタイプのハードウェアでは3DESの高速化が可能です。AES-128はAES-192およびAES-256よりも高速ですが、安全性は低くなります。
- ・ AES-192:AES-192では、AES暗号化に192ビットキーを使用します。AES-192はAES-128より も低速ですが、安全性は高く、AES-192はAES-256よりも高速ですが、安全性は低くなります。
- ・ AES-256:AES-256は、AES暗号化に256ビットのキーを使用します。AES-256はAES-128およびAES-192よりも低速ですが、安全性は高くなります。

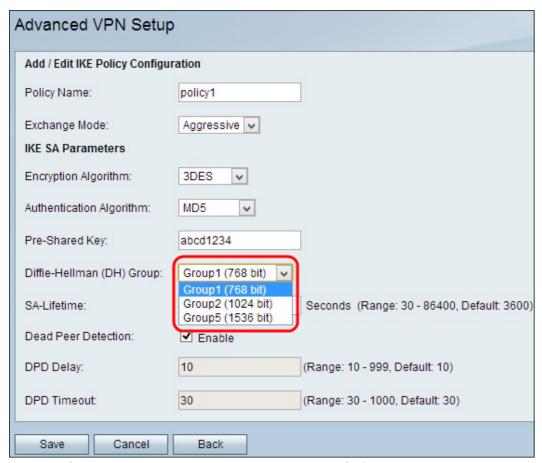


ステップ6:[Authentication Algorithm]ドロップダウンリストから必要な認証を選択します。

- ・ MD5:Message-Digest Algorithm 5(MD5)は、認証に128ビットのハッシュ値を使用します。 MD5はSHA-1およびSHA2-256よりもセキュアではありませんが、高速です。
- ・ SHA-1:セキュアハッシュ関数1(SHA-1)は、認証に160ビットのハッシュ値を使用します。 SHA-1はMD5よりも低速ですが安全性が高く、SHA-1はSHA2-256よりも高速ですが安全性が低 くなります。
- ・ SHA2-256:256ビットのハッシュ値(SHA2-256)を持つセキュアハッシュアルゴリズム2は、認証に256ビットのハッシュ値を使用します。SHA2-256はMD5およびSHA-1よりも低速ですが、セキュアです。



ステップ7:[Pre-Shared Key]フィールドに、IKEポリシーで使用する事前共有キーを入力します。



ステップ8:[*Diffie-Hellman (DH) Group*] ドロップダウンリストから、IKEが使用するDHグループを 選択します。DHグループ内のホストは、互いに認識せずにキーを交換できます。グループビット 番号が大きいほど、グループのセキュリティは高くなります。

・グループ1 - 768ビット:最小強度キーと最も安全でない認証グループ。しかし、IKEキーの計

算にかかる時間が短縮されます。このオプションは、ネットワークの速度が低い場合に推奨されます。

- ・グループ2 1024ビット:強度の高いキーとよりセキュアな認証グループ。しかし、IKEキーを計算するには時間が必要です。
- ・グループ5 1536ビット:最高強度キーと最もセキュアな認証グループを表します。IKEキーを計算する時間が長くなる。ネットワークの速度が高い場合に推奨されます。

Advanced VPN Setup		
Add / Edit IKE Policy Configu	ration	
Policy Name:	policy1	
Exchange Mode:	Aggressive 🗸	
IKE SA Parameters		
Encryption Algorithm:	3DES 🔻	
Authentication Algorithm:	MD5	
Pre-Shared Key:	abcd1234	
Diffie-Hellman (DH) Group:	Group2 (1024 bit) 🔻	
SA-Lifetime:	3500	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 3600)
Dead Peer Detection:	<b>✓</b> Enable	
DPD Delay:	20	(Range: 10 - 999, Default: 10)
DPD Timeout:	40	(Range: 30 - 1000, Default: 30)
Save Cancel	Back	

ステップ9:[SA-Lifetime]フィールドに、VPNのSAが更新されるまでの期間(秒)を*入力し*ま*す*。

ステップ10:(オプション)[Dead Peer Detection]フィールドの**[Enable]**チェックボックスをオンにし*て、[Dead Peer Detection]*を有効にします。Dent Peer Detection(DPD)は、IKEピアを監視して、ピアが機能を停止したかどうかを確認します。Dead Peer Detection(DPD)は、非アクティブなピアのネットワークリソースの浪費を防止します。

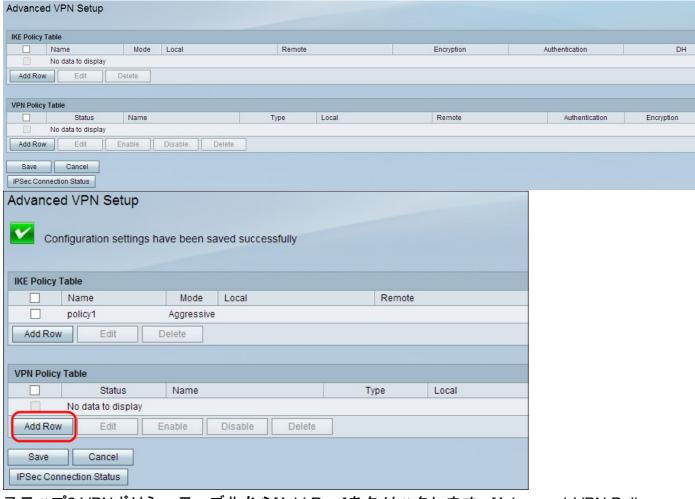
ステップ11:(オプション)ステップ9でDent Peer Detectionを有効にした場合は、Dent Peer Delay フィールドにピアのアクティビティをチェックする頻度(秒)を入力します。

ステップ12:(オプション)ステップ9でDent Peer Detectionを有効にした場合は、Dent Peer Detection Timeoutフィールドに、非アクティブなピアがドロップされるまでに待機する秒数を入力します。

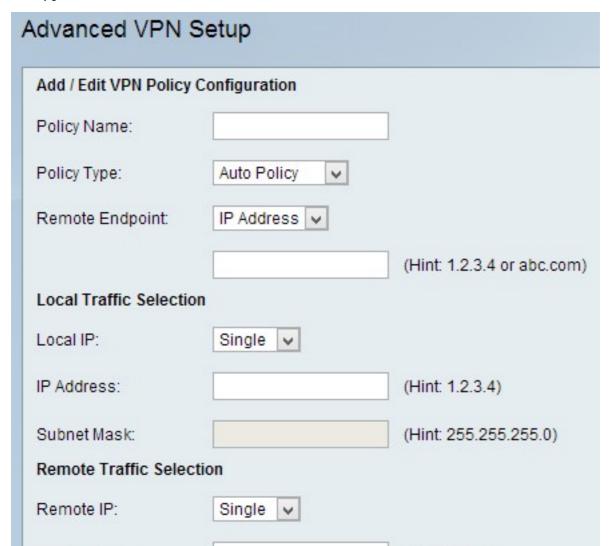
ステップ13:[Save]をクリックして、すべての設定を適用します。

## VPNポリシーの設定

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[VPN] > [Advanced VPN Setup]を選択します。[*Advanced VPN Setup*]ペ*ージが開*きます。



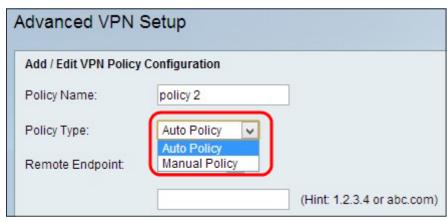
ステップ2:VPNポリシーテーブル**から**[Add Row]をク*リックします*。[Advanced *VPN Policy Setup*]ウィンドウが表示されます。



#### VPNポリシー設定の追加/編集

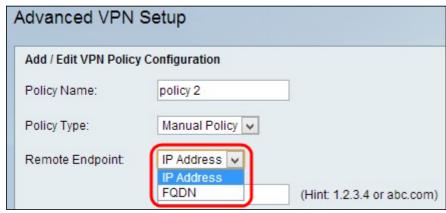


ステップ1:[Policy Name]フィールドにポリシーの一意の名前を入力して識別します。



ステップ2:[Policy Type]ドロップダウンリストから適切なポ*リシー*タイプを選択します。

- ・自動ポリシー:パラメータは自動的に設定できます。この場合、ポリシーに加えて、 IKE(Internet Key Exchange)プロトコルが2つのVPNエンドポイント間でネゴシエートする必要が あります。
- ・手動ポリシー:この場合、VPNトンネルのキーの設定を含むすべての設定は、エンドポイントごとに手動で入力されます。



ステップ3:[リモートエンドポイント]ドロップダウンリストから、リモートエンドポイントのゲートウェイを識別するIP ID*のタイプ*を選択します。

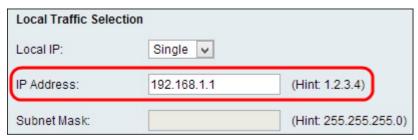
- ・ IPアドレス:リモートエンドポイントのゲートウェイのIPアドレス。このオプションを選択した場合は、フィールドにIPアドレスを入力します。
- ・ FQDN(完全修飾ドメイン名):リモートエンドポイントのゲートウェイの完全修飾ドメイン 名を入力します。このオプションを選択した場合は、フィールドに完全修飾ドメイン名を入力し

ます。

#### ローカルトラフィックの選択

Local Traffic Select	tion	
Local IP:	Single V	
IP Address:	Subnet	(Hint: 1.2.3.4)
Subnet Mask:		(Hint: 255.255.255.0)

ステップ1:[Local IP]ドロップダウンリストから、エンドポイントに指定する識別子の*タイプ*を選択します。

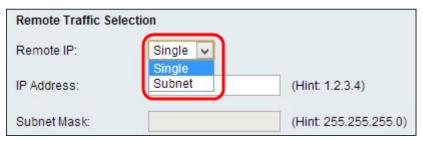


・ Single:これにより、ポリシーが1つのホストに制限されます。このオプションを選択した場合は、[IP address]フィールドにIPアドレス*を入力*します。



・サブネット:IPの境界を定義するマスクです。これにより、指定されたサブネットのホストだけがVPNに接続できます。VPNに接続するには、論理AND演算によりコンピュータを選択する。IPが必要な同じ範囲に収まっている場合は、コンピュータが選択されます。このオプションを選択した場合は、[IP address and Subnet]フィールドにIPアドレスとサブネットを入力します。

### リモートトラフィックの選択



ステップ1:[*Local* IP]ドロップダウンリストから、エンドポイントに指定する識別子のタイプを選択します。

Remote Traffic Selection		
Remote IP:	Single v	
IP Address:	192.168.1.5	(Hint: 1.2.3.4)
Subnet Mask:		(Hint: 255.255.255.0)

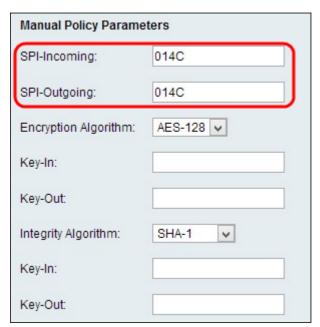
・ Single:これにより、ポリシーが1つのホストに制限されます。このオプションを選択した場合は、[IP address]フィールドにIPアドレス*を入力*します。



・サブネット:IPの境界を定義するマスクです。これにより、指定されたサブネットのホストだけがVPNに接続できます。VPNに接続するには、論理AND演算によりコンピュータを選択する。IPが必要な同じ範囲に収まっている場合は、コンピュータが選択されます。このオプションを選択した場合は、[IP address and Subnet]フィールドにIPアドレスとサブネットを入力します。

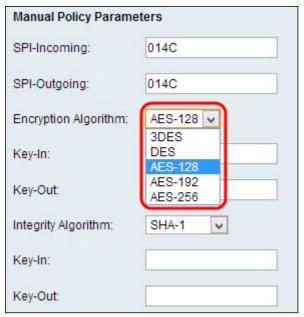
#### 手動ポリシーパラメータ

手動ポリシーパラメータを設定するには、[Add/Edit VPN Policy Configuration]セクションのステップ2の[Policy Type]ドロップダウンリストから[Manual Policy]を選択します。



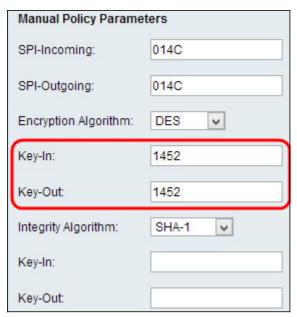
ステップ1:[SPI-Incoming]フィールドに3~8の16進数値を入力します。ステートフルパケットインスペクション(SPI)は、ディープパケットインスペクションと呼ばれるテクノロジーです。 SPIは、コンピュータネットワークを安全に保つために役立つセキュリティ機能を実装しています。SPI-Incoming値は、前のデバイスのSPI-Outgoingに対応します。リモートVPNエンドポイントの SPI-Outgoingフィールドの値が同じである場合は、任意の値を使用できます。

ステップ2:[SPI-Outgoing]フィールドに3 ~ 8の16進数値*を入力し*ます。



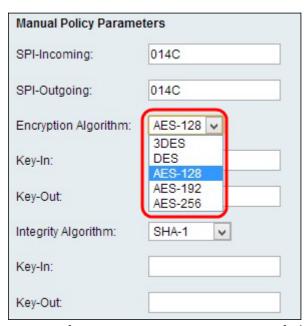
ステップ3:[Encryption Algorithm]ドロップダウンリストから適切な暗号化アルゴリズムを選択します。

- ・ DES:Data Encryption Standard(DES;データ暗号規格)では、データ暗号化に56ビットキーサイズを使用します。DESは古いため、1つのエンドポイントがDESのみをサポートしている場合にのみ使用する必要があります。
- ・ 3DES Triple Data Encryption Standard(3DES)は、DESを3回実行しますが、実行された DESのラウンドに基づいて、キーサイズを168ビットから112ビット、112ビットから56ビットに 変更します。3DESはDESやAESよりも安全です。
- ・ AES-128:128ビットキー(AES-128)を使用するAdvanced Encryption Standard(AES-128)では、AES暗号化に128ビットキーを使用します。AESはDESよりも高速で安全です。一般に、AESは3DESよりも高速ですが、安全性は低いのですが、一部のタイプのハードウェアでは3DESの高速化が可能です。AES-128はAES-192およびAES-256よりも高速ですが、安全性は低くなります。
- ・ AES-192:AES-192では、AES暗号化に192ビットキーを使用します。AES-192はAES-128より も低速ですが、安全性は高く、AES-192はAES-256よりも高速ですが、安全性は低くなります。
- ・ AES-256:AES-256は、AES暗号化に256ビットのキーを使用します。AES-256はAES-128およびAES-192よりも低速ですが、安全性は高くなります。



ステップ4:[Key-In]フィールドにインバウンドポリシーの暗号*化キーを入力*します。キーの長さは、ステップ3で選択したアルゴリズムによって異なります。

ステップ5:[Key-Out]フィールドにアウトバウンドポリシーの暗号化キーを入力します。



ステップ6:[Integrity Algorithm]ドロップダウンリストから適切な*整合性アルゴリ*ズムを選択します。このアルゴリズムは、データの整合性を検証します。

- ・ MD5:このアルゴリズムは、キーの長さを16文字に指定します。Message-Digest Algorithm 5(MD5)はコリジョンに強くないため、このプロパティに依存するSSL証明書やデジタル署名などのアプリケーションに適しています。MD5はバイトストリームを128ビット値に圧縮しますが、SHAは160ビット値に圧縮します。MD5は計算する方が若干安価ですが、MD5はハッシュアルゴリズムの古いバージョンであり、衝突攻撃に対して脆弱です。
- ・ SHA1 Secure Hash Algorithm version 1(SHA1)は160ビットのハッシュ関数で、MD5よりも安全ですが、計算に時間がかかります。
- ・ SHA2-256:このアルゴリズムは、キーの長さを32文字に指定します。

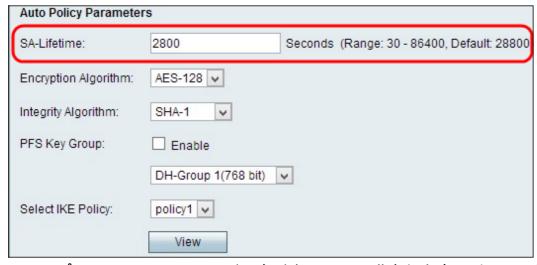
Manual Policy Parameters	
SPI-Incoming:	014C
SPI-Outgoing:	014C
Encryption Algorithm:	DES
Key-In:	1452
Key-Out:	1452
Integrity Algorithm:	SHA2-256 V
Key-In:	1234
Key-Out:	1234

ステップ7:インバウンドポリシーの整合性キー(整合性モードのESP用)を入力します。キーの長さは、ステップ6で選択したアルゴリズムによって異なります。

ステップ8:[Key-Out]フィールドにアウトバウンドポリシーの整合性キーを入力します。VPN接続はアウトバウンドからインバウンドに設定されているため、一方の端からのアウトバウンドキーは他方の端のインバウンドキーと一致する必要があります。

注:正常な接続を行うには、SPI-IncomingおよびOutgoing、Encryption Algorithm、Integrity Algorithm、およびKeysがVPNトンネルの反対側で同じである必要があります。

#### 自動ポリシーパラメータ

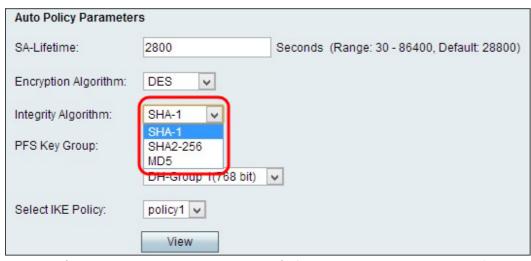


ステップ1:[SA Lifetime ( SAライフタイム ) ]フィールドにセキュリティアソシエーション(SA)の 期間を秒単位で入力します。SAライフタイムは、いずれかのキーがライフタイムに達した時点で 、関連するすべてのSAが自動的に再ネゴシエートされます。

Auto Policy Paramete	s
SA-Lifetime:	2800 Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Encryption Algorithm:	AES-128 V
Integrity Algorithm:	DES
PFS Key Group:	AES-128 AES-192 AES-256
	DH-Group 1(768 bit)
Select IKE Policy:	policy1 v
	View

ステップ2:[Encryption Algorithm]ドロップダウンリストから適切な暗号化アルゴリズムを選択します。

- ・ DES:Data Encryption Standard(DES;データ暗号規格)では、データ暗号化に56ビットキーサイズを使用します。DESは古いため、1つのエンドポイントがDESのみをサポートしている場合にのみ使用する必要があります。
- ・ 3DES Triple Data Encryption Standard(3DES)は、DESを3回実行しますが、実行された DESのラウンドに基づいて、キーサイズを168ビットから112ビット、112ビットから56ビットに 変更します。3DESはDESやAESよりも安全です。
- ・ AES-128:128ビットキー(AES-128)を使用するAdvanced Encryption Standard(AES-128)では、AES暗号化に128ビットキーを使用します。AESはDESよりも高速で安全です。一般に、AESは3DESよりも高速ですが、安全性は低いのですが、一部のタイプのハードウェアでは3DESの高速化が可能です。AES-128はAES-192およびAES-256よりも高速ですが、安全性は低くなります。
- ・ AES-192:AES-192では、AES暗号化に192ビットキーを使用します。AES-192はAES-128より も低速ですが、安全性は高く、AES-192はAES-256よりも高速ですが、安全性は低くなります。
- ・ AES-256:AES-256は、AES暗号化に256ビットのキーを使用します。AES-256はAES-128およびAES-192よりも低速ですが、安全性は高くなります。



ステップ3:[Integrity Algorithm]ドロップダウンリストから適切な整合性アルゴリズムを選択します。このアルゴリズムは、データの整合性を検証します。

・ MD5:このアルゴリズムは、キーの長さを16文字に指定します。Message-Digest Algorithm 5(MD5)はコリジョンに強くないため、このプロパティに依存するSSL証明書やデジタル署名などのアプリケーションに適しています。MD5はバイトストリームを128ビット値に圧縮しますが、

SHAは160ビット値に圧縮します。MD5は計算する方が若干安価ですが、MD5はハッシュアルゴリズムの古いバージョンであり、衝突攻撃に対して脆弱です。

- ・ SHA1 Secure Hash Algorithm version 1(SHA1)は160ビットのハッシュ関数で、MD5よりも安全ですが、計算に時間がかかります。
- ・ SHA2-256: このアルゴリズムは、キーの長さを32文字に指定します。

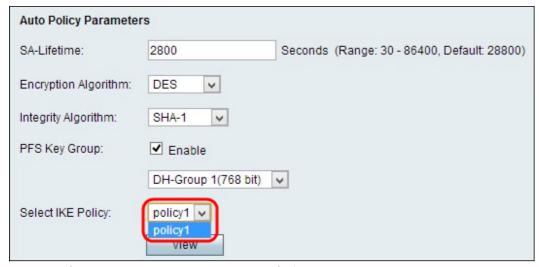
Auto Policy Paramete	rs	
SA-Lifetime:	2800	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Encryption Algorithm:	DES 🗸	
Integrity Algorithm:	SHA-1	
PFS Key Group:	✓ Enable	
	DH-Group 1(768 bit)	<u> </u>
Select IKE Policy:	policy1 🗸	
	View	

ステップ4:(オプション)[PFS Key Group]フィールドの[**Enable**]チェックボックスをオンにして、*Perfect Forward Secrecy(完全転送秘密)を有効にします。これはセキュリティを向上させるためです。* 

Auto Policy Paramete	rs	
SA-Lifetime:	2800	Seconds (Range: 30 - 86400, Default: 28800)
Encryption Algorithm:	DES	
Integrity Algorithm:	SHA-1	
PFS Key Group:	<b>☑</b> Enable	_
Select IKE Policy:	DH-Group 1(768 bit) DH-Group 1(768 bit) DH-Group 2(1024 bit) DH-Group 5(1536 bit) View	

ステップ5:ステップ4で[**Enable**]をオンにした場合は、[*PFS Key Group*]フィールドのドロップダウンリストから適切なDiffie-Hellmanキー交換を選択します。

- ・グループ1 768ビット:最も低い強度キーと最も安全でない認証グループを表します。しかし、IKEキーの計算に必要な時間が短縮されます。ネットワークの速度が低い場合に推奨されます。
- ・グループ2 1024ビット:強度の高いキーとよりセキュアな認証グループを表します。しかし、IKEキーを計算するには時間が必要です。
- ・グループ5 1536ビット:最高強度キーと最もセキュアな認証グループを表します。IKEキーを計算する時間が長くなる。ネットワークの速度が高い場合に推奨されます。



ステップ6:[Select IKE Policy]ドロップダウンリストから適切なIKEポリシーを選択します。 Internet Key Exchange (IKE;インターネットキーエクスチェンジ)は、VPNで通信するためのセキュアな接続を確立するために使用されるプロトコルです。この確立されたセキュアな接続は、セキュリティアソシエーション(SA)と呼ばれます。 VPNが正常に機能するには、両方のエンドポイントのIKEポリシーが同じである必要があります。

ステップ7:[Save]をクリックして、すべての設定を適用します。

**注**:接続が成功するには、SA -Lifetime、Encryption Algorithm、Integrity Algorithm、PFSキーグループ、およびIKEポリシーが、VPNトンネルの反対側で同じである必要があります。

RV110Wに関する記事を表示する場合は、ここをクリックしてください。